

トップ メッセージ

平素より当社への格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。
国連が発効した「持続可能な開発目標(SDGs)」は、グローバル経済の課題へとシフトし、企業に対してもこれらの社会課題解決に向けた対応が求められています。これに呼応するように企業評価においても、財務情報だけでなくESG(Environment, Social, Governance)投資を評価する動きへと変化してきました。

このように企業を取り巻く環境が大きく変わる中で、いすゞが持続可能な社会の実現に向けて果たすべき役割はますます拡大しています。

具体的には、いすゞは気候変動問題への取り組みとして、燃費が良く、かつ各国の厳しい環境基準に適合するディーゼルエンジンの開発等に加え、代替燃料である天然ガス車や、ハイブリッド車、電気自動車などのさまざまな先端技術にも挑戦することで、低炭素社会の実現に貢献してまいります。同様に気候変動問題への適合策として、稼働サポート体制の充実に努めております。環境活動を進める中で、昨年12月には、そのベースとなるISO14001に基づく環境マネジメントシステムを再構築し、いすゞ全社統合した形でISO14001:2015への対応を完了しました。

一方で、ディーゼルエンジン開発において、海外自動車メーカーの「信頼」を揺るがすような不正も発生しました。いすゞでも社内調査を実施し、不正がないことを確認しました。これからは皆様の「信頼」を守るため、厳格なチェック体制の構築と正しい情報開示に努めてまいります。

環境問題と同様に自動車メーカーの責務である安全については、基準に基づく厳格なテストを行い、最先端の技術を導入し続けることで事故の低減に努めております。

さらには、グローバルに開発、生産、開発拠点を展開することで多くの雇用を創出するとともに、当社が培った技術、ノウハウを伝えるための整備学校や整備コースを設けて次世代育成に努め、進出国／地域の格差の是正にも取り組んでおります。

また、本年4月には、「いすゞプラザ」を開設しました。「『運ぶ』を支えるいすゞ」「いすゞのくるまづくり」「いすゞの歴史」のテーマでいすゞを体感していただくとともに、地域の皆様のコミュニティーの場としてもご利用していただける施設となっております。

これからも着実に活動を充実させ、継続的にCSR活動を推進してまいります。

いすゞは企業理念に基づく企業活動を推進することで、拡大する企業の社会的責任に対応し、「信頼」をベースに「いすゞだからこそできること」を提供し、さまざまな社会課題の解決に貢献してまいります。

今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長
片山 正則

